

年少クラス
9月

マットの運動遊び

おいしいおにぎりつくろう

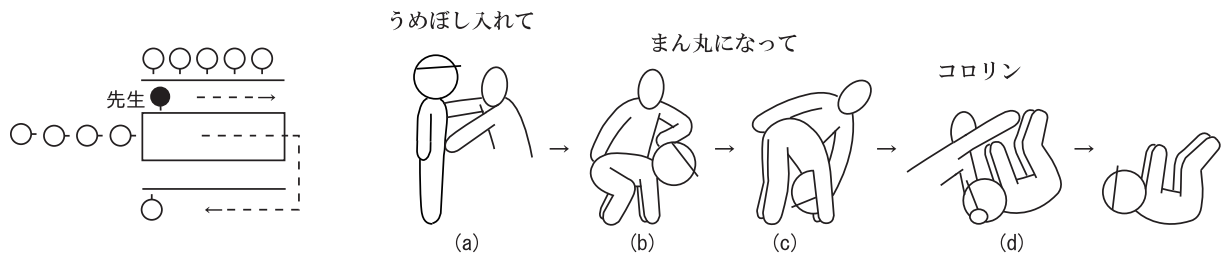
● 補助前転 ●

ねらい

先生に補助をしてもらいながら前転を楽しむ。正しい方法を体験し、回転感覚等を養う。

■ 隊形図 ■

■ 展開図 ■



遊びのシナリオ

『先生の話・→先生の動き・「」子供の反応・→子供の動き

○長いマットを1枚敷く。両側に待機線を引き、2組に分けた子供たちをすわらせる。

① おにぎりのお話で導入する。

『みんなは何のおにぎりが好きですか？』

『シャケ』『コブ』

『先生はタラコが好きだなあ。きょうはみんなでおにぎりになってみます。そしてまん丸なおにぎりになれば、コロリンってころがってみましょう』

② おにぎりのお手本を見せる。

『トシくん、お手本をおねがいします。ここに立ってください』

➡お手本の子をマットのはじめに立たせる。

先生はお手本の子の横にしゃがむ。

『トシくんは何のおにぎり？』『梅干』

『それじゃあ梅干を入れましょう』

➡お手本の子のおへそのあたりに、梅干を埋め込むまねをする(a)。

③ 手や頭のつき方を伝える。

『丸めていきます。トシくん、足のすぐそばに

手をつけてください』

➡つま先のすぐ前に両手をつかせる(b)。

『そして、お尻を持ち上げながら、自分のおへそを見てください』

➡片手をお手本の子の後頭部、もう一方の手をお尻に添える。後頭部を支えながら、お尻を持ち上げさせ、顔をおなかの方に向けさせていく(c)。

『おにぎりのできあがり。頭の後ろをマットにつけてころがります。コロリン』

➡後頭部を支えながら前転させる(d)。

『トシくんのおにぎり、とっても上手にころがれました』

④ 1人ずつ好きなおにぎりになる。

『みんなもおいしいおにぎりになってみましょう』

➡一方の組をマットの前に一列に並べる。

『チエちゃんは何のおにぎりになりますか？』

➡1人ずつ何を入れるかたずね、おなかに埋め込むまねをしてあげる。後頭部を支えて補助をしながら前転をさせる。